

# 東武動物公園 ニュースリリース

動 27-26 号  
平成 27 年 12 月 18 日

## 新クマ舎「ヒグマの森～Japanese Big Bear～」 2016 年春オープン！！

東武動物公園（東武レジャー企画株式会社 埼玉県宮代町 社長：日置岳人）は、平成 28 年 3 月 28 日に、お陰様で開園 35 周年を迎えます。開園 35 周年の記念事業の一環として、同月に、クマ舎をリニューアルオープンします。

当園では、2 頭のヒグマ（雄イナオ、雌アヤメ）を飼育しており、大きな体に愛くるしい表情で人気を博しています。「ヒグマの森」と名付けた新クマ舎は、“大きな猛者に大接近”をコンセプトに、日本最大の陸上動物といわれるヒグマの行動と魅力を引き出す施設になります。

「ヒグマの森」は、総面積 200 m<sup>2</sup>（旧展示場の 2 倍）の広さと、施設の前面と側面に設けられたガラスビューにより、クマの生き生きとした様子をご覧いただけます。また、「生態」・「接近」・「体験」の 3 つのキーワードをもとにした工夫や仕掛けがあり、クマの大きさや水の中での姿を間近に観察できるほか、お客様が自らエサやり体験できるスペースもご用意しました。

新展示場は、3 月のオープンに向けて、順調に作業を進めていますので、ご期待ください。



新クマ舎「ヒグマの森」イメージデザイン

## 新クマ舎について

### 「生態」

#### ① クマのすみかを再現

展示場内は、ヒグマが主に生息する北海道の森林をイメージしたすみかを再現します。ヒグマが野生化では、どのような場所で、どのように暮らしているのかを見ることができます。

#### ② 水辺での行動～Doki Doki プール～

野生のヒグマは、水辺で水を飲むだけではなく、獲物を捕らえるために積極的に水の中に入ります。その姿をご覧いただけるよう、幅 2m50 cm、縦 1m、奥行 2m の大型プールを設置します。クマがプールの中で遊ぶ姿や、豪快に水しぶきをあげる様子を間近に見ることができます。

### 「接近」

#### ① 日本最大級の陸上動物

クマの仲間でも大型のヒグマの体長は 2m を超え、体重は約 250 kgにもなります。その大きさを間近で観察できるよう、強化ガラスのビュースポットを作ります。お客様はガラス越しにクマの大きさを見ることができ、立ち上がった際には背比べが楽しめます。

#### ② クマとの遭遇～ベアーホール～

長さ 7m、幅 3m の中央回廊では途中小窓が設置され、クマがどこから現れるか緊張感が溢れます。あたかもクマのすみかに迷い込んだような錯覚に陥ります。

### 「体験」

#### ① 楽しく学ぶ、クマの魅力

飼育係がヒグマの生態や個体の説明を交えながら、クマにエサをあげる様子をご覧いただくイベント「クマガイド」を土・日・祝日で開催予定。さらに飼育係だけではなくお客様にもエサやり体験ができるスペースを新たに設けます。

#### ② クマと遊ぶ～トイベアー～

カラクリを盛り込んだ特殊な装置により、お客様がいつでもクマにエサをあげることができます。エサをあげた楽しみだけではなく、エサがどのようにしてクマの元に行くのかも楽しみ、お客様とクマが間接的にコミュニケーションを取ることができます。

※装置の内容については調整中です。

## ヒグマ個体情報

個 体 名 : イナオ

性 別 : オス

生 年 月 日 : 1993 年 1 月 7 日

個 体 名 : アヤメ

性 別 : メス

生 年 月 日 : 2008 年 1 月 18 日



←イナオ  
アヤメ↓



## ヒグマについて

体長 2～3m 体重 150～300kg 果実や木の根などを主食としていますが、魚を食べたりもする雑食性です。出産は冬季に穴などにこもっているときに行い、産まれたときの体重は 500g ほどしかありませんが、成長すると 150kg～300kg にもなります。そのため、子どもの頃は木登りをしますが、大人になると木登りをしなくなります。泳ぎが上手く、北海道から本州へ泳いだ例もあります。

〒345-0831 埼玉県南埼玉郡宮代町大字須賀 110

東武レジャー企画(株) 業務部 山口・中嶋・前田

Tel 0480-93-1200 Fax 0480-92-2694 HP アドレス <http://www.tobuzoo.com>